

OpenBlocks IoT Family向け FTP設定ガイド



Ver.3.3.2

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- ・ 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 使用にあたって

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。
- ・ 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については正確を期するように努めていますが、記載の誤りなどにご指摘がございましたら弊社サポート窓口へご連絡ください。
また、弊社公開の WEB サイトにより本書の最新版をダウンロードすることが可能です。
- ・ 本装置の使用にあたっては、生命に関わる危険性のある分野での利用を前提とされていないことを予めご了承ください。
- ・ その他、本装置の運用結果における損害や逸失利益の請求につきましては、上記にかかわらずいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。

目次

第 1 章 はじめに	4
第 2 章 FTP 設定.....	4
2-1. FTP のインストール	4
2-2. FTP サーバー起動設定.....	5
2-3. FTP パケットフィルタについて	7
2-4. FTP クライアント設定.....	8
第 3 章 その他.....	11
3-1. 外部ストレージとの連携について.....	11
3-2. ストレージクリーナップ機能との連携について.....	11
3-3. FTP クライアントにおけるファイル名について.....	11

第1章 はじめに

本書は、OpenBlocks IoT Family に搭載可能な FTP サーバソフト及び FTP のクライアントの使用方法を解説しています。

第2章 FTP 設定

2-1. FTP のインストール

本製品出荷時では、FTP はインストールされておられません。そのため、WEB UI の「メンテナンス」→「機能拡張」タブから FTP をインストールしてください。



WEB UI の「メンテナンス」タブを選び、さらに「機能拡張」タブをクリックすると機能拡張用のパッケージを選択することができます。



インストール機能のリストから「FTP」を選択します。

その後、インストールの「実行」ボタンを押し、インストールを行ってください。

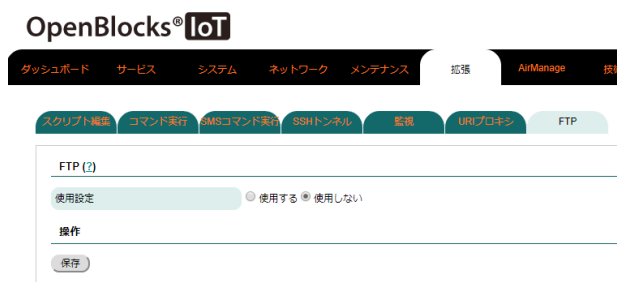
尚、インストール完了後には反映を行うため、本体再起動が必要となります。そのため、「メンテナンス」→「停止・再起動」から本製品の再起動を行ってください。

2-2. FTP サーバー起動設定

FTP のインストールが完了している場合、WEB UI の「拡張」→「FTP」タブに FTP の項目が表示されます。

使用設定を「使用する」に設定し、保存することで FTP サーバーとして扱うことができます。

FTP 用ユーザーとして”obsftpuser”を用意しております。デフォルトパスワードは”0BSI0TF2P”(パスワードの O は数字の 0 です)ですが、WEB UI から設定することでパスワードは変更されます。



FTP

使用設定：

FTP の使用設定を行います。FTP を使用する場合には、「使用する」を選択してください。

FTP 用ディレクトリ：

FTP サーバーログイン時のルートディレクトリのパスを設定します。尚、事前にディレクトリ用意しておく必要がある為、「システム」→「ファイル管理」タブ等にてディレクトリを作成してください。

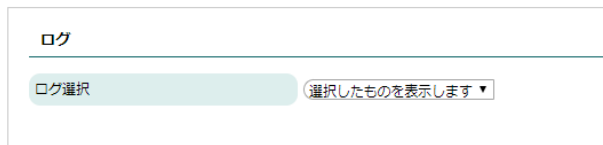
FTP アカウントパスワード：

FTP 用ユーザー”obsftpuser”のパスワードを設定できます。

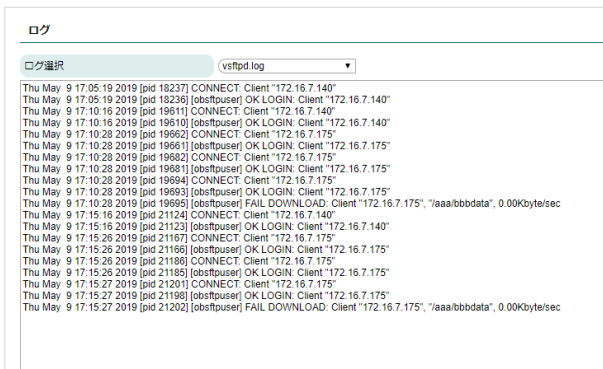


設定完了後、保存ボタンを押すことにより FTP が起動・停止します。

尚、本機能での書き込み等についてはストレージ寿命を縮めることが想定されます。そのため、ディレクトリパス先については外部ストレージや tmpfs 等の本体ストレージに影響のない場所を推奨いたします。



©15 - 2019 PlatHome Co., Ltd. All rights reserved.



ログ

ログ選択：

ログ選択フォームから該当のログファイルを選択することにより、FTP サーバー機能のログの確認が行えます。

本機能のログは対象ファイルの末尾数十行分のみとなります。

そのため、全内容を確認する場合にはサポートデータを取得しご確認ください。

2-3. FTP パケットフィルタについて

FTP のインストールが完了している場合、ファイル共有用のプロトコル通信の為、FTP のフィルタを開放する必要があります。そのため、WEB UI の「システム」→「フィルタ」タブにてフィルタを開放してください。

※FTP サーバーとして運用する場合に、開放する必要があります。FTP クライアント機能のみ使用する場合には開放の必要はありません。



デフォルトでは FTP 用のアクセスはできないようにフィルタが適用されています。

“有効”に設定し、保存ボタンを押してください。

Attention)

FW.3.3.1 から FTP サーバー機能を「使用する」に設定し保存した場合、フィルタ開放確認のウィンドウが表示されます。ウィンドウ画面にて適用する旨を選択した場合、自動でフィルタが恒久的に反映されます。

2-4. FTP クライアント設定

FTP のインストールが完了している場合、WEB UI の「拡張」→「FTP クライアント」タブに FTP クライアントの項目が表示されます。

本機能は、対象の FTP サーバーに対して 5 分毎に接続を行いアクセスパスに存在するファイルが前回と同一のものかを確認を行います。ファイルが異なる場合や新規にファイルが置かれている場合には、OpenBlocks 本体へとファイルのダウンロードを行います。

使用設定を「使用する」に設定し保存及び各設定を行うことで FTP クライアントとして動作し自動でファイルがダウンロードされます。

※自動ダウンロードを行うため、ダウンロードするファイルのサイズや本体のストレージ容量はチェックしていません。そのため、大容量のファイルが置かれる場所に対して FTP のアクセスは行わないでください。

※本機能では、FTP プロトコルのサポートのみとなります。FTPS はサポート対象外となります



FTP クライアント

使用設定：

FTP クライアントの使用設定を行います。FTP クライアントとして自動でファイルをダウンロードする場合には、「使用する」を選択してください。

保存先ディレクトリ：

FTP クライアントとして、接続後にファイルをダウンロードした際に保存するディレクトリの指定を行います。

尚、保存されるファイル名は”<接続先ホスト>_<ファイル名>”また”<接続先ホスト>_<修正アクセスパス>_<ファイル名>”となります。

※保存ファイル名の詳細については、後述部を参照してください。

自動削除設定：

FTP クライアントしてダウンロードしたファイルの内、一定期間更新等がないファイルを自動的に削除する機能をしようするか設定します。



確保日数：

自動削除設定機能にて、変更がないファイルを確保する日数を指定します。

保存ボタンを押すことにより、使用設定及び保存先ディレクトリが適用されます。

FTP 設定

ルール名：

FTP クライアントとしてダウンロードする際のユニークな名前を設定します。

接続先ホスト：

接続先の FTP サーバーの IP アドレス等の指定を行います。

接続先ポート：

FTP プロトコルとして接続するコントロールポートの指定を行います。

※通常では、デフォルトの 21 から変更する必要はありません。

アクセスパス：

接続先ホストに対してログイン後におけるデータをダウンロードしたいディレクトリのパスを設定します。

接続ユーザー：

FTP サーバーに接続する際のユーザー名を指定します。

接続パスワード：

FTP サーバーに接続する際のユーザー名に対応するパスワードを指定します。

FTP設定	
ルール名	<input type="text"/>
接続先ホスト	<input type="text"/>
接続先ポート	<input type="text" value="21"/>
アクセスパス	<input type="text"/>
接続ユーザー	<input type="text"/>
接続パスワード	<input type="text"/>
操作	
<input type="button" value="保存"/>	<input type="button" value="接続確認"/>

FTP設定	
ルール名	<input type="text" value="ftp rule2"/>
接続先ホスト	<input type="text" value="172.16.7.175"/>
接続先ポート	<input type="text" value="21"/>
アクセスパス	<input type="text" value="/data1/"/>
接続ユーザー	<input type="text" value="ftpuser"/>
接続パスワード	<input type="text" value="*****"/>
操作	
<input type="button" value="保存"/>	<input type="button" value="接続確認"/>

保存ボタンを押すことにより、対象 FTP サーバーへのダウンロード設定が適用されます。また、接続確認ボタンにより入力中のフォーム値をもとに接続確認が行われます。接続確認結果はボタンの横に表示されます。

FTPダウンロードルール一覧

FTP 設定にて保存したダウンロードルールの一覧が表示されます。

「編集」を押すことにより、対象ルールが FTP 設定のフォームに自動で入力されます。

「削除」を押すことにより、対象ルールが削除されます。

FTPダウンロードルール一覧	
ルール名	操作

FTPダウンロードルール一覧	
ルール名	操作
ftprule1	編集 削除
ftprule2	編集 削除

ログ

ログ選択 ▼

ログ

ログ選択 ▼

[obs-ftp-downer.log](#)

ログ

ログ選択 ▼

```
May 9 17:20:26 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:20:26 obsist obs-ftp-downer: End Ftp Client Download Event
May 9 17:25:01 obsist obs-ftp-downer: Start Ftp Client Download Event
May 9 17:25:25 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: ftprule1
May 9 17:25:25 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:25:25 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: local
May 9 17:25:25 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:25:25 obsist obs-ftp-downer: End Ftp Client Download Event
May 9 17:30:01 obsist obs-ftp-downer: Start Ftp Client Download Event
May 9 17:30:18 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: ftprule1
May 9 17:30:19 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:30:19 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: local
May 9 17:30:19 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:30:19 obsist obs-ftp-downer: End Ftp Client Download Event
May 9 17:35:01 obsist obs-ftp-downer: Start Ftp Client Download Event
May 9 17:35:20 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: ftprule1
May 9 17:35:21 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:35:21 obsist obs-ftp-downer: DOWNLOAD RULE: local
May 9 17:35:21 obsist obs-ftp-downer: - Download file none
May 9 17:35:21 obsist obs-ftp-downer: End Ftp Client Download Event
```

ログ

ログ選択 :

ログ選択フォームから該当のログファイルを選択することにより、FTP サーバー機能のログの確認が行えます。

本機能のログは対象ファイルの末尾数十行分のみとなります。

そのため、全内容を確認する場合にはサポートデータを取得しご確認ください。

第 3 章 その他

3-1. 外部ストレージとの連携について

WEB UI の標準機能として、外部ストレージを自動的にマウントする機能が存在しています。ファイルサーバとして扱う場合、一定以上の書き込みが想定されます。そのため、FTP によるファイル共有用の書き込み先については、外部ストレージマウント機能と連携し運用する事を推奨します。

3-2. ストレージクリーンアップ機能との連携について

FTP サーバーにおいて書き込み一定以上行い、対象ストレージの使用率が一定以上となるケースが想定されます。WEB UI の標準機能として、ディスクの使用率が一定以上となった場合、特定ディレクトリ配下の一定期間以上前のファイル削除を行うことが可能です。そのため、ストレージクリーンアップ機能と連携し運用する事を推奨します。

3-3. FTP クライアントにおけるファイル名について

FTP クライアント機能にて FTP サーバーからファイルをダウンロードする場合、以下のファイル名規則に基づいてダウンロードされます。

■ダウンロード後のファイル名規則

●アクセスパスを定義している場合

<接続先ホスト>_<修正アクセスパス>_<ファイル名>

●アクセスパスを定義していない場合

<接続先ホスト>_<ファイル名>

変数	説明
<接続先ホスト>	FTP クライアント設定における FTP 設定にて定義した接続先ホスト。
<修正アクセスパス>	FTP クライアント設定における FTP 設定にて定義したアクセスパスを修正した値。
<ファイル名>	対象 FTP サーバー及びアクセスパス配下に存在するファイルのファイル名。

<修正アクセスパス>の修正内容は以下となります。

■修正変換ルール

- 1, 先頭及び末尾の”/”を削除。
- 2, 修正後の値から”/”を”_”へと変換。
- 3, 修正後の値から” ”(スペース)を削除。

■ファイル名サンプル

変数	設定内容	ファイル名
<接続先ホスト>	localhost	localhost_aaa_bbb_test.txt
<修正アクセスパス>	aaa/bbb/	
<ファイル名>	test.txt	
<接続先ホスト>	192.168.10.10	192.168.10.10_test_aaa.csv
<修正アクセスパス>	test	
<ファイル名>	aaa.csv	
<接続先ホスト>	192.168.10.10	192.168.10.10_bbb.csv
<修正アクセスパス>	(未設定)	
<ファイル名>	bbb.csv	

OpenBlocks IoT Family 向け FTP 設定ガイド
(2019/06/03 第 2 版)

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F